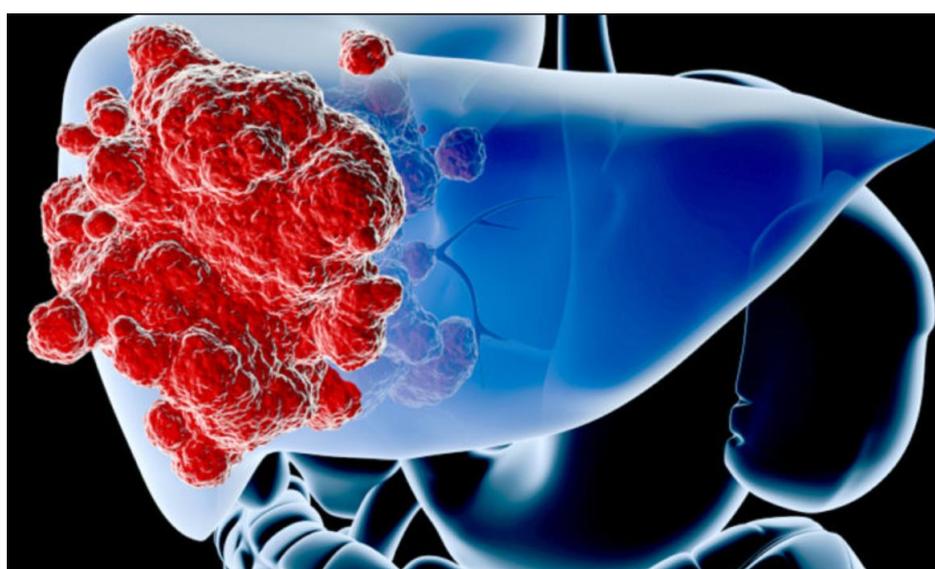
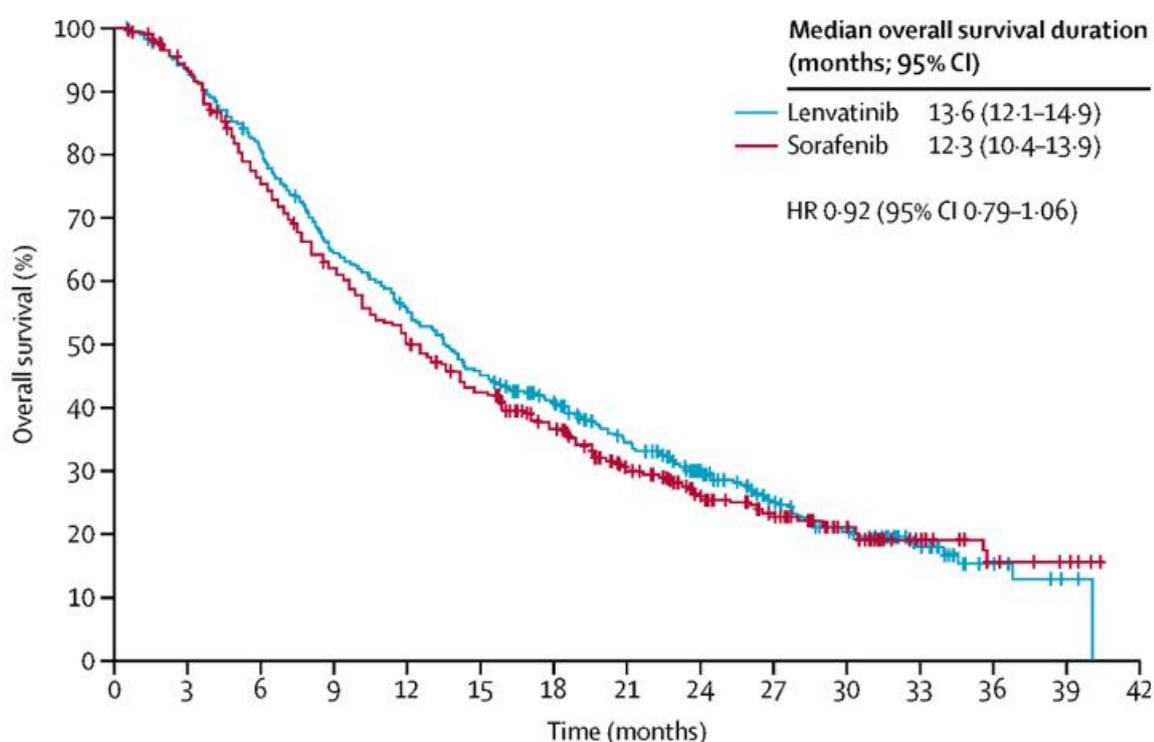


肝細胞癌の新しい治療薬； レンバチニブについて

未治療の切除不能な肝細胞癌患者 954 例を対象に行った 20 カ国の無作為化第 3 相試験で、現在使用されている肝臓がんの第一選択薬ソラフェニブに対するレンバチニブの非劣性を検討した結果が医学雑誌 Lancet に報告されました（REFLECT 試験）。



主要評価項目の全生存期間中央値はレンバチニブ群 13.6 カ月、ソラフェニブ群 12.3 カ月で、レンバチニブの非劣性が示されました（ハザード比 0.92、95%CI 0.79-1.06）。



レンバチニブ群で見られた有害事象は高血圧(42%)、下痢(39%)、食欲低下(34%)、体重減少(31%)などでありました。

レンバチニブは、
切除不能な肝細胞癌患者さんに対する
新たな選択肢として期待されます。

